

●一斉学習
■教師説明型

実践タイトル 音声を切ることで主人公の心情を読み取る

本時のねらい

父親の財布からお金をとる主人公が、夢の中で父親と同じように働き、自分が働くことの苦勞を知り、働いて得た給料すべてが自由に使えないことに気付かせる。ドラマ仕立てで番組を視聴し、心情を考えさせたい場面で音声切って見せることで、焦点化する。

主に活用したICT機器・教材・コンテンツ等とそのねらい

電子黒板

主人公の気持ちを考えやすくするために、電子黒板を使用して動画を視聴し、必要に応じて音声を消すことで考えさせたい場面を焦点化させる。

Web教材

出演者が視聴する児童と同じような年代である。また、動画を意図したタイミングで停止したり、音量調節したりすることも容易にできる。学習に必要な画像等も、NHK for schoolサイトからダウンロードすることができる。

参考にしてほしいポイント

Web教材を使用することにより、授業時間を気にすることなく番組が視聴できる。また、ただ視聴するだけではなく、コンテンツの操作画面や大型テレビのミュート機能などを使用すれば、音声を消すことも容易にできる。さらに、ただ見せるだけでなく、映像の一部を見えなくさせたり、音を聞こえなくすることにより、児童の多様な想像を促すこともできる。電子黒板ではなくても、インターネット回線などがあればどこでも容易に取り組むことができる。

学習の流れ(分)		主な学習活動と内容	ICT機器・教材、コンテンツ等
本時の展開	導入 0 3	○みんなのためにしている仕事について話し合う。	
	展開 35	○500円玉のイラストを見て、どうしたらお金がもらえるか考える。 ○番組を視聴し、主人公の気持ちを考える。 ・一生懸命働いても120円しかもらえなかったソウスケの気持ち ・お父さんの財布から2000円盗むソウスケの気持ち ・お金を正直に返す時のソウスケの気持ち	・電子黒板 ・NHK for school (番組を場面ごとに停止させ、場面に応じて音声を消す。続きを再生する際には音声入りで再生する) (写真1) ・コンテンツ (ワークシートや板書の画像は同サイトからダウンロードできる) (写真2・3)
	まとめ 45	○仕事をしている家の人に手紙を書く。	



写真1：発問ごとに分けた動画を視聴する



写真2：サイトの画像を使い流れが分かるように板書

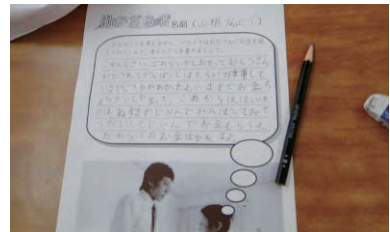


写真3：ワークシートにもサイトの画像を使用

児童生徒の反応

音声なくなった瞬間、「先生、音が消えたで?」「なんて言おうがやろう?」と、ぐっと集中度が増した。それだけでなく、近くの友だちと、主人公が何を言っているのか、どんなことを考えているか話しかける場面もみられた。発問をしたり、説明したりしなくても、能動的に主人公の気持ちを考えだした瞬間があった。

活用効果

評価の観点	主人公のお父さんに対する気持ちを自分との関わりで考えることで、働くことの大変さや大切さを感じ取る。
具体的変容	番組に引き込まれ、初めの段階から集中して画面を見ていた。心情を考える発言は、普通の授業のように出ていたが、全体の様子や雰囲気だけでなく、主人公の表情を見てどんな気持ちなのかを考える児童がいた。状況が具体的であるのでイメージしやすく、意欲的に考えようとする児童が多かった。

実践の手応え

授業が終わった後、話の続き(父親にお金を返し一生懸命お手伝いしたお金で好きな女の子にプレゼントしたものが、とっても相手に喜んでもらえハッピーエンドで終了)を見せたところ、何人かの児童が拍手をしていた。また、「まじめに働いた方がいいことがある」といいながら帰る児童もあり、価値に気付いた児童は多かった。音声を消すことにより、考えさせたいことをはっきり児童に伝えることができた。